

環境から始める SDGs 取組のすすめ

埼玉県一般廃棄物連合会版



埼玉県の支援策

【埼玉県環境SDGs取組宣言企業制度】



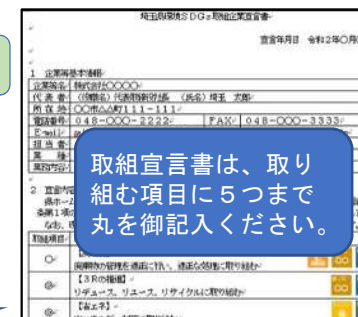
埼玉県では、環境分野のSDGsのゴールの達成に向けた取組を宣言し、一定の要件を満たす企業等の取組を県ホームページ等で発信し、支援しています。

- ・対象
埼玉県内に本社又は支社等を有し、県内において事業活動を行う企業、法人、団体、個人事業主
- ・宣言企業のメリット
 - ✓ 県ホームページ等でSDGsの取組がPRできます。
 - ✓ 先行事例の情報収集や企業等のネットワークづくりができます。
 - ✓ 地域での信頼獲得や新たな事業機会の創出につながります。
 - ✓ 取組のPRで企業イメージが向上し、多様な人材の確保につながります。
 - ✓ ビジネスの取引条件に対応できます。
 - ✓ 社会的な課題への対応により自社の取組が深まります。

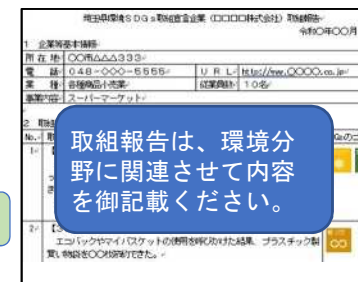
【手続きについて】

自社の取組と環境SDGsを関連付けてみましょう

- ステップ 1 取組宣言書の提出
はじめに、取組宣言企業となるための「宣言書」を御提出ください。
宣言後、県ホームページの一覧表に企業等の名称、取組項目等を掲載します。



- ステップ 2 取組報告書の提出
以降、原則1年ごとに進捗状況を確認し、「取組報告書」を御提出ください。報告後、報告いただいた取組内容、成果、PRポイント等を県ホームページに掲載します。



環境SDGsの取組を更に進め、継続しましょう

お問合せ：埼玉県 環境部環境政策課
(電話：048-830-3019 メール：a3010-11@pref.saitama.lg.jp)

CONTENTS

- SDGs活動を目指して 3
- SDGsとは 4
- SDGsは私たちに関係あるのか？ .. 5
- ここから始める環境SDGs活動
..... 6
- 一般廃棄物処理業界の
環境SDGs活動のヒント
..... 8



SDGs 活動を目指して

当連合会は、埼玉県内の一般廃棄物処理や環境衛生の向上を目指し、地域社会に貢献する団体です。県内の地元一般廃棄物処理業者が100社以上加盟しており、その活動は40年以上になります。し尿処理・浄化槽維持管理や一般廃棄物処理等の歴史的経緯や法律等を行政や各団体、県民等に正しく理解してもらい、今後の連合会およびその加入業者の活動促進をはかり、埼玉県内の環境保全や行政・県民への信頼に貢献しております。

当連合会は、設立趣旨を実現しその社会的使命を果たすべく、埼玉県をはじめとする環境行政に常に協力してきました。「環境」は、一人一人が水や大気に関心を持ち、適切な処理を実践していくことから作られていきます。浄化槽への理解、ごみの排出の仕方によっては良くも悪くもなってしまいます。

当業界は、SDGs登場以前から意欲的に環境、社会問題に取り組んできており、「当社はもっと前からやっていた」、「また新しい横文字か」と、SDGsに少し距離を置いたケースもあったかもしれません。しかし、今後は明文化や可視化することが価値になる時代です。このSDGsを進めるにはトップのコミットメントが推進を加速させることとなりますので、是非皆さんで取組を発信していきませんか。

今後も一般廃棄物産業のために、会員企業の皆様とともに積極的にSDGsを推進いたしたく、埼玉県環境部様、一般社団法人埼玉県中小企業診断協会様と本冊子を作成しました。

皆様の事業活動や環境対策活動の一助になることを祈念いたします。

埼玉県一般廃棄物連合会

SDGsとは

SDGs (Sustainable Development Goals 持続可能な開発目標) は、「誰一人取り残さない」より良い世界へ変革することを目指して、

- ① 貧困や飢餓、教育などの**社会**の課題
- ② エネルギーや資源の有効活用、働き方や不平等など**経済**の課題
- ③ 気候変動など地球**環境**の課題

という、3つの側面から捉えることのできる17のゴールを、自分事として、私達が事業活動や普段の生活から、少しずつ未来の子供たちに良い社会、地球を引き継ぐことができるように活動していくものです。



【埼玉県環境部から】

SDGsは17のゴールのうち「6 安全な水とトイレを世界中に」、「12 つくる責任つかう責任」、「13 気候変動に具体的な対策を」など、9つのゴールは廃棄物問題、地球温暖化といった環境の課題に大きく関わっています。

下図で示されるように、SDGsは環境を基盤に持続可能な社会や経済を築くことを目指しています。

埼玉県環境部では、SDGsやパリ協定の採択、ESG投資の拡大で、企業等に環境配慮の取組がより一層求められていることから、埼玉県一般廃棄物連合会様をはじめとする関係団体様や企業様等の環境分野のSDGsへの取組を支援していきます。



SDGsは私たちに関係するの？

SDGsでは、誰一人取り残さないと前文に記載があります。皆さん個人、法人を含めて関係するものです。中でもSDGsには環境に関する目標がたくさんあり、我々の活動そのものがすでにSDGsに寄与しています。

また、企業においてはESG投融資の関係もあり、環境配慮に対してより一層の取組が求められています。SDGsは皆さんが自分事としてとらえていただきたい活動です。

【取組メリットは？】

① 企業イメージの向上...

SDGsへの取組をアピールすることで、多くの人に「この会社は信用できる」、「この会社で働いてみたい」という印象を与え、より、多様性に富んだ人材確保にもつながるなど、企業にとってプラスの効果をもたらします。

② 社会の課題への対応...

SDGsには社会が抱えている様々な課題が網羅されていて、今の社会が必要としていることが詰まっています。これらの課題への対応は、経営リスクの回避とともに社会への貢献や地域での信頼獲得にもつながります。

③ 生存戦略になる...

取引先のニーズの変化や新興国の台頭など、企業の生存競争はますます激しくなっています。今後は、SDGsへの対応がビジネスにおける取引条件になる可能性もあり、持続可能な経営を行う戦略として活用できます。

④ 新たな事業機会の創出...

取組をきっかけに、地域との連携、新しい取引先や事業パートナーの獲得、新たな事業の創出など、今までになかったイノベーションやパートナーシップを生むことにつながります。

一方で、SDGsの取組のデメリットに大きなものは見当たりません。SDGsに取り組まないことは、人間活動によって生じた課題を世界共通の人類の課題としてとらえないこととなります。各国や各企業が独自にふるまってしまうと世界的な課題が十分に解消されずに逆に世界の状況がますます悪くなってしまいます。ゆくゆくは人間の生活自体が脅かされてしまう、安心・安全で平和な世界とは程遠い状態になってしまいます。

企業においても平和で災害の少ない世界でこそ、豊かなビジネスを展開できます。今後今までどおり利益重視で好きなようにふるまうと、それがかって経営リスクとして自らに跳ね返ってきてしまいます。このようなことがないためにも取り組む必要が今あるのです。

ここから始める環境SDGs活動

1. 実はすでに取り組んでいる「環境SDGs」活動

これから、SDGs活動に取り組もうとしている方も多いはずですが、一般廃棄物処理業界は、廃棄物をリサイクルやリユースするための処理を行う業界です。家庭や各産業から排出された廃棄物を焼却や廃棄するだけでなく、様々な分別や処理を行って、リサイクル可能なものはリサイクルし、廃棄するものをできるだけ減らすように変化してきました。

一般廃棄物処理業界そのものが環境の悪化を防ぎ、環境をより良くしていく業界です。各社が行っている事業そのものが「環境SDGs」活動です。自社では当たり前と思っ

て行っていることをSDGsを通して見直すことで、自社の業務に携わっていることに誇りを持ち、社員の皆さんのやる気につながっていきます。

- ・ 自社が行っているゴミの分別の意味を深く理解する
- ・ 廃棄物の処理コストを意識して作業している
- ・ ISO14001を取得、研修を受講した

等々



コバトン

2. お客様から受託された事業の中でも取り組んでいる

あらゆる業界において、現在の事業活動の中で環境面の取組は、必要不可欠なものです。環境面に取り組むことは、コストダウンなどにつながります。下記のように既に取り組んでいる事項もあると思います。

- ① 廃棄物の処分のご相談の際、単に安価な処分提案を行うのではなく、廃棄物の発生防止、削減、4Rなどの提案をお客様に行っていく。
- ② 浄化槽の清掃時、浄化槽の維持管理についての説明を実施し、点検と清掃、法定検査を勧めていく。
- ③ 廃棄物の運搬
 - ・ 効率的なルートで回収する。
 - ・ 廃棄物の種類ごとに分別して運搬する。
- ④ 省エネ運転の励行、車両の保守点検を定期的実施する。

これらの取組は、目標 3、6、7、11、12、13、14の達成に寄与します。



【環境SDGsをどのように進めていくか？】



コバトン

まずは自社で省エネ・省資源という環境視点をもって作業改善、生活改善、生産性向上、稼働率改善を行なっていくと、結果として環境改善と経営改善が一緒に図られます。さらに、お客様に廃棄物の削減、減容、リサイクルを提案し、実行を支援することが環境SDGsをさらに広げます。

- ① **SDGsを理解する・・・**
まずはこの冊子を社員や協力される皆様と読んでいただき、SDGsとは何かを知ってもらい皆さんで話し合い、考え方の共有を図ります。
- ② **優先課題を決定する・・・**
自社の活動内容の棚卸を行い、SDGsと紐づけて説明できるか考えます。
- ③ **目標を設定する・・・**
何に取り組むか検討し、取組の目的、内容、ゴール、担当部署を決めます。
→取組の行動計画を作成し、社内での理解と協力を得ましょう。
- ④ **経営へ統合する・・・**
取組を実施し、その結果をみんなで評価しましょう。
- ⑤ **報告とコミュニケーションを行う・・・**
一連の取組を整理し、外部への発信にも取り組んでみましょう。
↓
評価結果を受けて、②に戻って取組を検討、展開します。

取組のテーマを選ぶ際には1.自社のサービスの強みを十分に活かすことができる、2.気になる関心がある、という理由でも十分ですが、3.自分の子供や孫にはこんな世界で暮らしてほしいという観点でも見つけてみてください。



会長
中根正治郎



副会長 (SDGs担当)
西野日出夫

**SDGsは時代の要請です！
ともに頑張りましょう！**

この「取組のすすめ」は埼玉県一般廃棄物連合会の中根会長と西野副会長の御協力で作成しました。

一般廃棄物業界の環境SDGs活動のヒント

【一般廃棄物収集・運搬時のポイント】

1. 収集・運搬車両のエコ・ドライブ

- ✓ 収集・運搬車両や作業車両のエコドライブ
- ✓ 定期的な燃費検証
- ✓ 個人目標の設定
- ✓ ドライバーごとの運転の癖の把握
- ✓ ドライブレコーダーの設置



省エネ、CO2排出量削減の取組は、7「エネルギー」につながります。



省エネ等を通じた排気ガスの削減の取組は、11「都市」、12「生産・消費」につながります。

2. 運搬ルート効率化

- ✓ 曜日、年間での配送ルートの仮説と検証
- ✓ 効率的な運搬ルートの再設定を顧客先に提案



運搬時の環境負荷低減の取組は、3「保健」、11「都市」、15「陸上資源」につながります。

3. 運搬時の環境悪化の低減

- ✓ 収集・運搬時の5S
- ✓ 粉じん、臭気の防止



洗車方法等の見直しの取組は、6「水・衛生」につながります。

4. エコカーの導入

- ✓ ハイブリッド車や電動車両の導入
- ✓ 燃料電池運搬車両の導入

5. 車両洗車・清掃時の対応

- ✓ 洗車方法の見直し
- ✓ こまめな清掃



コバトン

等



走行用モーター減速機
水素充填口
油圧ポンプ
ゴミ収集機構
リチウムイオン電池
燃料電池を使った回収車の導入が期待されます

一般廃棄物業界の環境SDGs活動のヒント

【一般廃棄物処分時のポイント】

1. 分別処理の徹底

- ✓ 顧客の廃棄物分別を支援



コバトン

2. リサイクル事業への展開

- ✓ 各種廃棄物の再資源化への取組
- ✓ プラスチックの再生など新たなリサイクル事業分野への進出
- ✓ 廃棄物の固形燃料（RPF・RDF）化、堆肥化
- ✓ 廃棄物発電への原料の供給や自家発電の取組
- ✓ 有機汚泥・無機汚泥の再利用（肥料などへの再資源化）



リサイクル事業への展開は、消費エネルギーの削減を通じて、3「健康と福祉」、12「生産・消費」、15「陸上資源」などにつながります。

【浄化槽維持管理時のポイント】

- ✓ 年に1回の浄化槽清掃
- ✓ 適切な点検回数
- ✓ 浄化槽汚泥濃縮車の導入
- ✓ 単独浄化槽から合併浄化槽への転換
- ✓ 浄化槽の清掃時、浄化槽の維持管理について説明



浄化槽維持管理に取り組むことは、水やエネルギーの利用高度化を通じて、3「健康と福祉」、7「エネルギー」、11「都市」、12「生産・消費」、13「気候変動」、14「海洋資源」などにつながります。



皆さんの会社がすでに行っていることが第一歩です！
小さなことから始めていきましょう！